

ダンスの犬 ALL IS FULL  
宙づりというサスペンス  
2016年6月18日19日  
BankART Studio NYK



我々は今、身体的にも情情的にも「宙づり」という言葉で言い表されるのではないだろうか。人間存在の歴史的な核が喪失してしまい、経済、家族のあり様、仕事の価値観、心の拠り所ほか、すべてが空に浮いてしまっている。先人は「地に足をつけて生きろ」と口うるさくいつていたが、その地がどこかへ行ってしまった。存在に向かって360度から来るベクトルが、安定してギュッと固定されているのならまだしも、宙づり状態でどちらに揺れるか推測不能状態である。◆ならば、ここはサスペンスという一つの状況として割り切り、宛先知らずのドラマを生み出し、せめてもの希望を見つけ出したいと思う。◆横浜バンクアートの3Fを、廃墟の空間と見立て、15名のダンサー・パフォーマーが繰り広げていく網目に、ただ一点に沈着していく感情を抽出していくことを目論んでいる。どうしても離せない身体の思いを、具体動作からダンスへ変質していく、その移行時間にどっぷり浸かっていくのを願って。◆作・演出=深谷正子



出演=佐藤ペチカ・斉藤直子・中西晶大・梅澤妃美・秦真紀子・武智博美・やましん・富士栄秀也・武智圭佑・三浦宏予・玉内集子・細川麻実子・友井川由衣・曾我類子・関口大

6月18日・土=15:00|19:00 19日・日=17:30 各30分前開場

前売2500円|当日3000円

問い合わせ=深谷 info@masako-fukaya.com | 090-1661-8045

www.masako-fukaya.com



Masako Fukaya ◆1947年東京生まれ。日本体育大学健康学科在学中に美二三枝子のダンスに出会いモダンダンスの存在を知る。卒業後、藤井公・利子の下でダンスのエッセンスを学ぶ。1976年より、「動体証明」と名付けたシリーズを開始、ダンスの枠を取り払い動体としての表現を追求し始める。2001年、主宰するカンパニーを「ダンスの犬ALL IS FULL」と改めて〈そこに体がある〉〈塊としての体〉から、ダンスに温度を注入している。2014年、舞踊批評家協会賞受賞(ソロ《ダンスワームホール》により)。◆写真=坂田洋一 主催=ダンスの犬ALL IS FULL ◆照明=玉内公一 ◆音響=サエグサユキオ ◆音=KO.DO.NA ◆衣装=田口敏子 TEE ART WORKS ◆制作=霜村和子 ◆ちらし=坂巻裕一

